

令和元年度 弘前大学附属図書館利用者アンケート 実施報告

平成26年10月の本館リニューアルオープンから5年経ちますので、館内設備やサービスに関する利用状況や満足度、要望等を把握し、今後の図書館運営及びサービス改善の参考とするために、利用者アンケートを実施しました。

調査の結果、開館時間の延長や、館内での飲食等、様々なご意見・ご要望をいただきましたので、今後の図書館サービス向上のために改善に取り組んでいきます。

多くの皆様にアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

1. 実施方法

調査期間：2019年11月1日（金）～11月22日（金）

調査対象：学生、教職員、一般利用者

回答方法：①Webフォームから回答する

②アンケート用紙に記入し、館内設置の回収箱に入れる

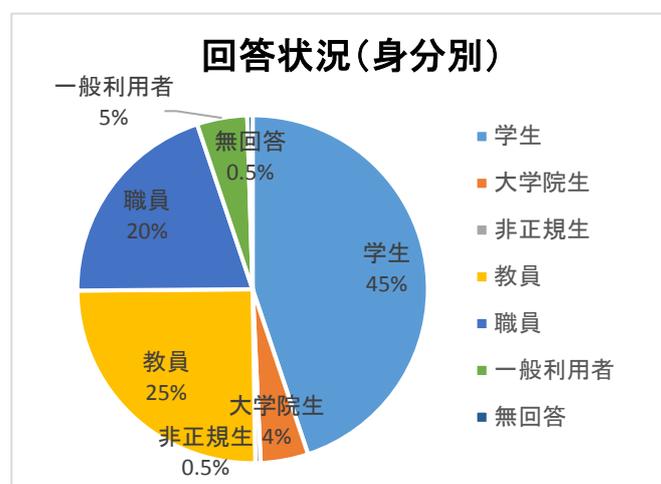
2. 回答数

アンケート用紙	89
Web フォーム	321
計	410

3. 回答結果

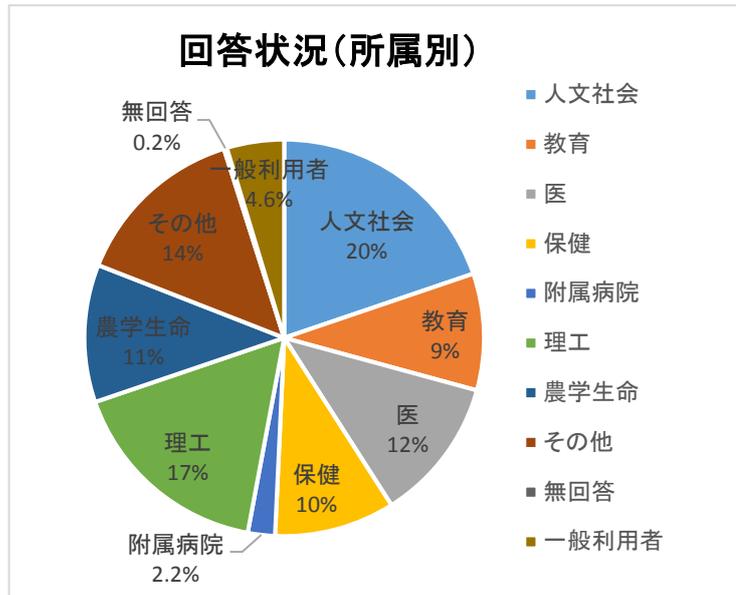
【設問1】回答状況（身分別）

学生	184
大学院生	18
非正規生	2
教員	103
職員	82
一般利用者	19
無回答	2
計	410



【設問 2】 回答状況（所属別）

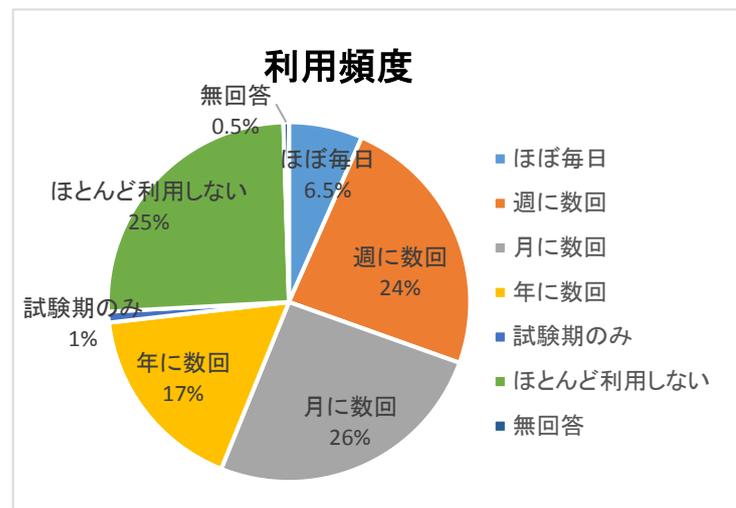
人文社会	81
教育	39
医	48
保健	40
附属病院	9
理工	69
農学生命	46
その他	58
無回答	1
一般利用者	19
計	410



(利用状況)

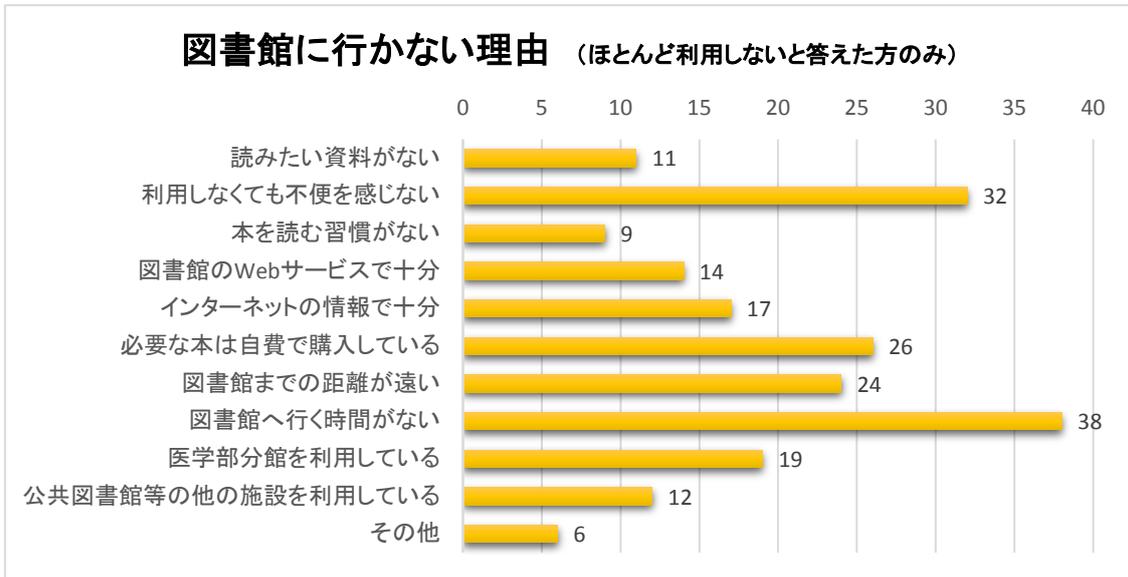
【設問 3】 図書館（文京キャンパスにある本館）をどのくらいの頻度で利用しますか？

ほぼ毎日	27
週に数回	98
月に数回	105
年に数回	70
試験期のみ	4
ほとんど利用しない	104
無回答	2
計	410



[設問3で「ほとんど利用しない」と答えた方に質問します。]

【設問4】図書館に行かない主な理由は何ですか？（3つまで）



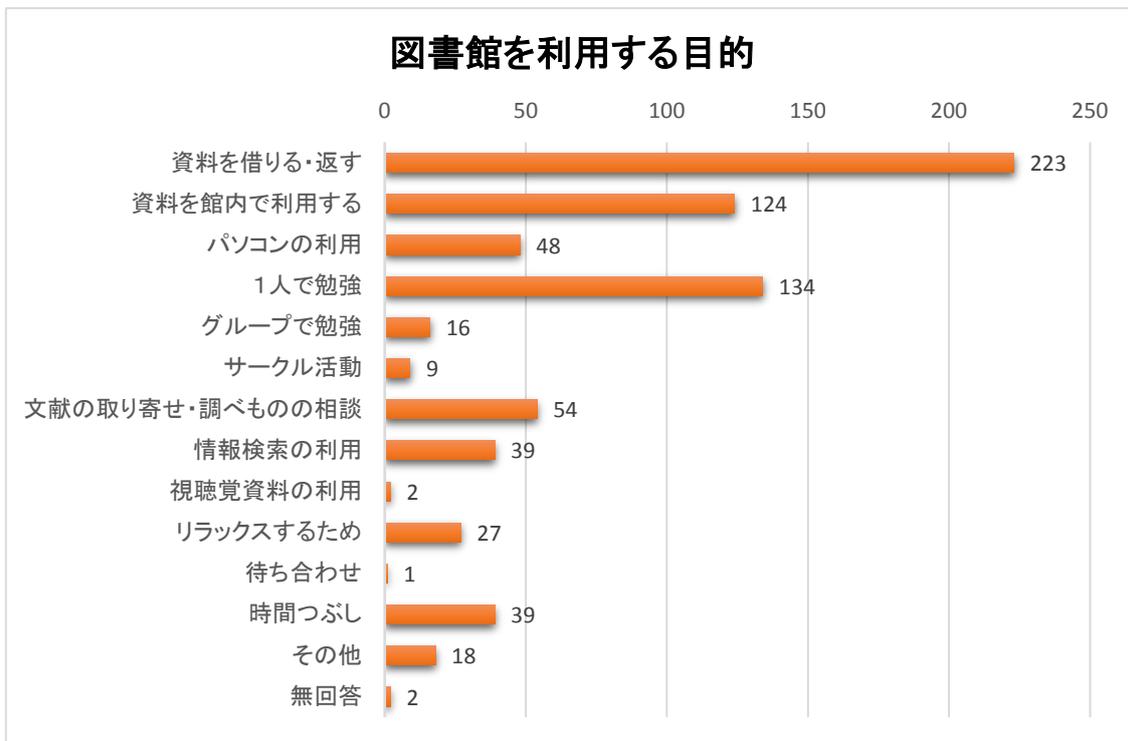
■その他

- ・最新の本がない
- ・情報系の書籍が古い
- ・図書館を利用する習慣がない
- ・青森市内の研究所からは遠すぎる
- ・利用方法がよくわからない
- ・大学の図書館を一般市民も利用できると知り、近所なので、ぜひ利用してみたいけれど、一般市民なので、大学生さんが借りるべき本を私が借りてしまっているのだろうか、と心の中で葛藤してしまい、心配に

なり、最近では、市立図書館でも他の人が借りたかったかもしれないのに自分が借りてしまっているのだからと妙な緊張をして心配をして本を借りることをためらってしまうのですが、本当は、図書館の本を借りて読書をしたり、図書館で本を読んだりして、有意義に図書館を利用したいなあとは思っています。図書館の落ち着いた空間は大好きです。

[以下の設問 5～11 は図書館を利用している方への質問です]

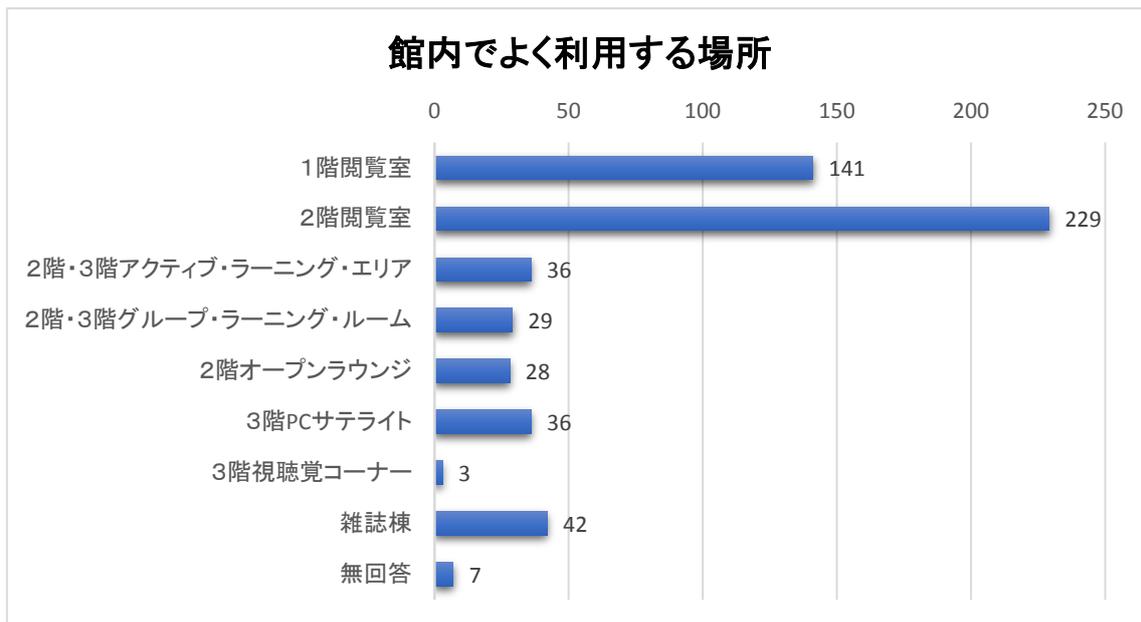
【設問 5】 図書館を利用する主な目的は何ですか？（3つまで）



■その他

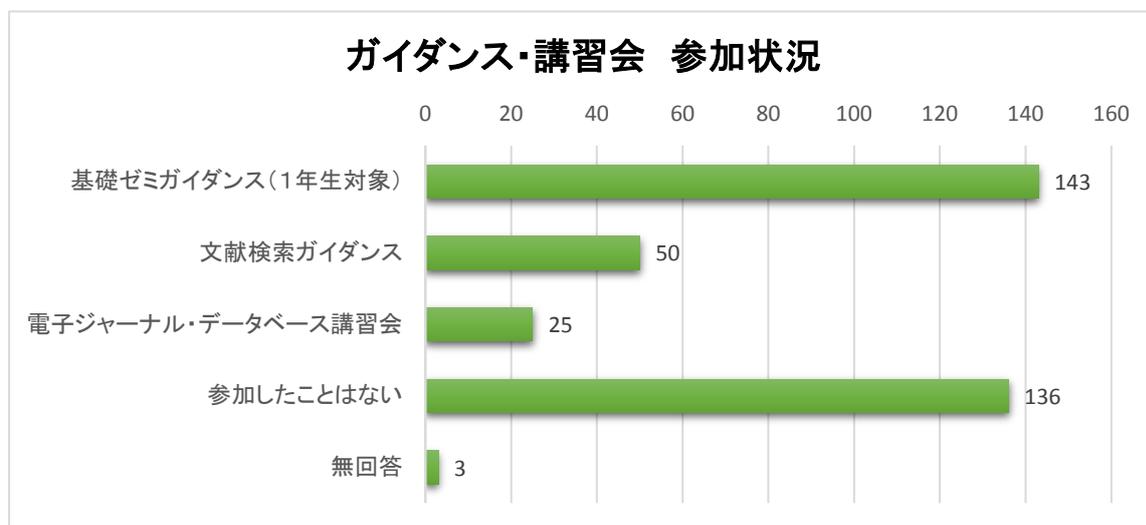
- ・ グループ・ラーニング・ルームなど利用
- ・ ゼミをラーニングルームで行うため
- ・ ミーティング・発表練習
- ・ 取材等でのグループ・ラーニング・ルームの使用やイベント参加など
- ・ 授業の一環
- ・ 学生の指導
- ・ 担当講義で利用
- ・ 新聞の閲覧（2件）
- ・ 会議・打ち合わせ（4件）
- ・ 研究交流カフェに出席するため（3階会議室）
- ・ 就職欄を写す事
- ・ 医学分館で医学書
- ・ アルバイト

【設問 6】 館内でよく利用する場所は？（複数回答可）

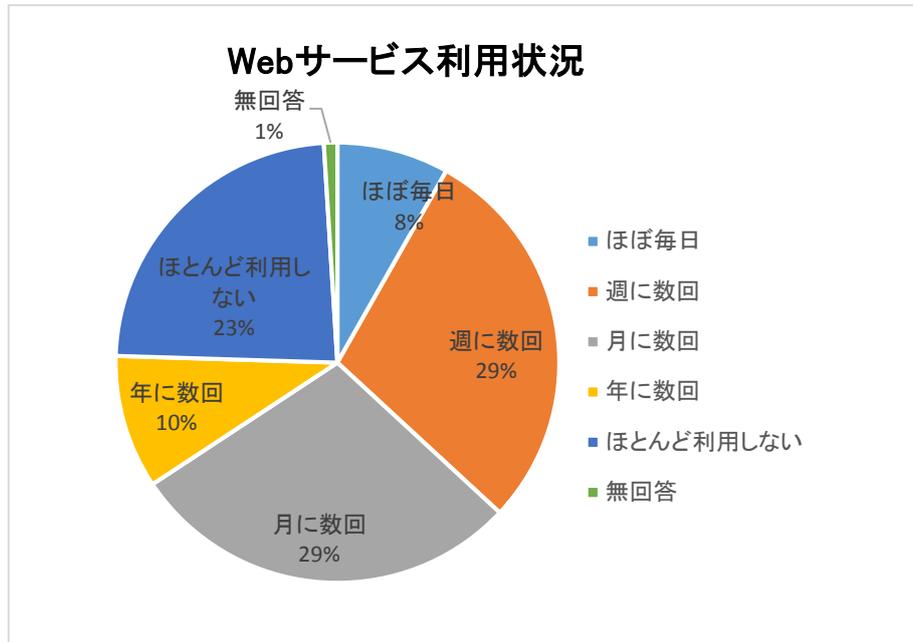


【設問 7】 図書館で開催しているガイダンスや講習会に参加したことはありますか？

（複数回答可）

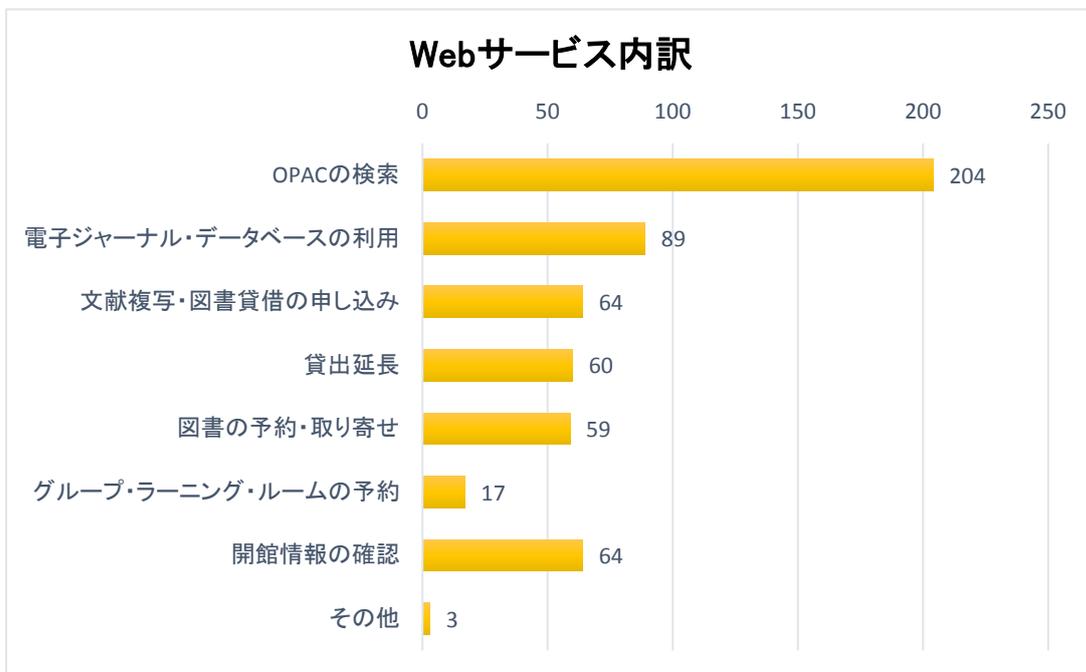


【設問 8】図書館の Web サービス（OPAC、電子ジャーナル、MyLibrary 等）をどのくらいの頻度で利用しますか？

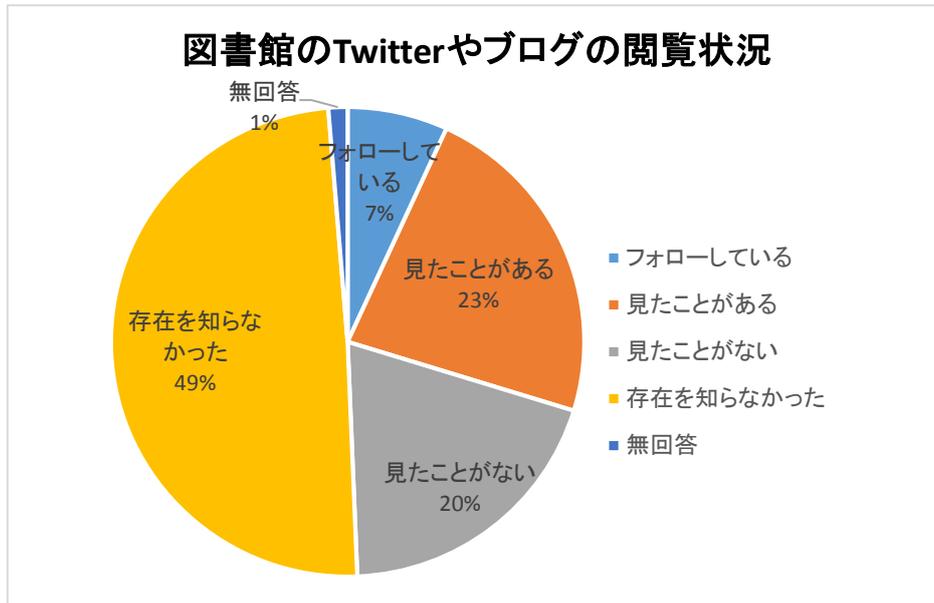


[設問 8 で Web サービスを利用すると答えた方のみ]

【設問 9】どの Web サービスを利用していますか？（複数回答可）

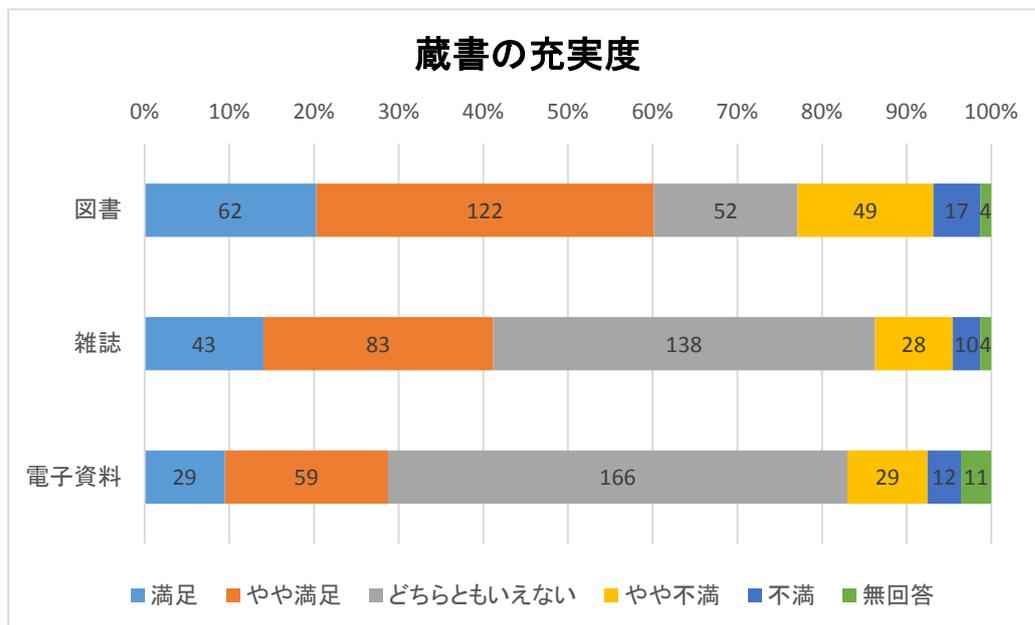


【設問 10】 図書館の Twitter やブログを見たことがありますか？

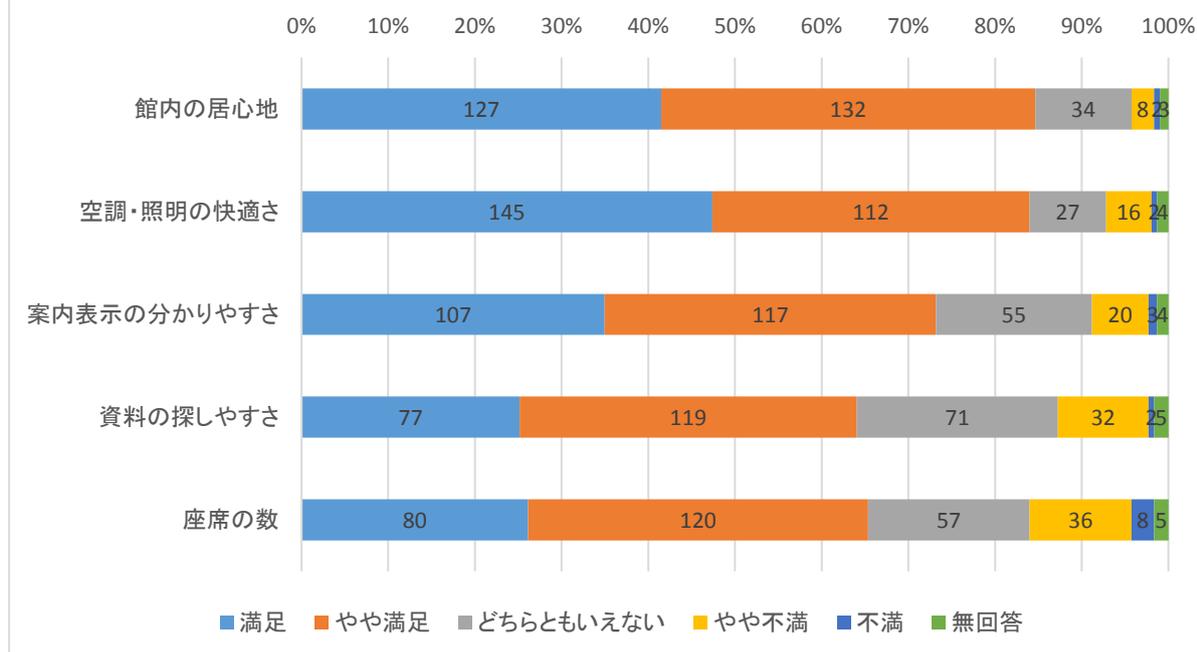


(満足度)

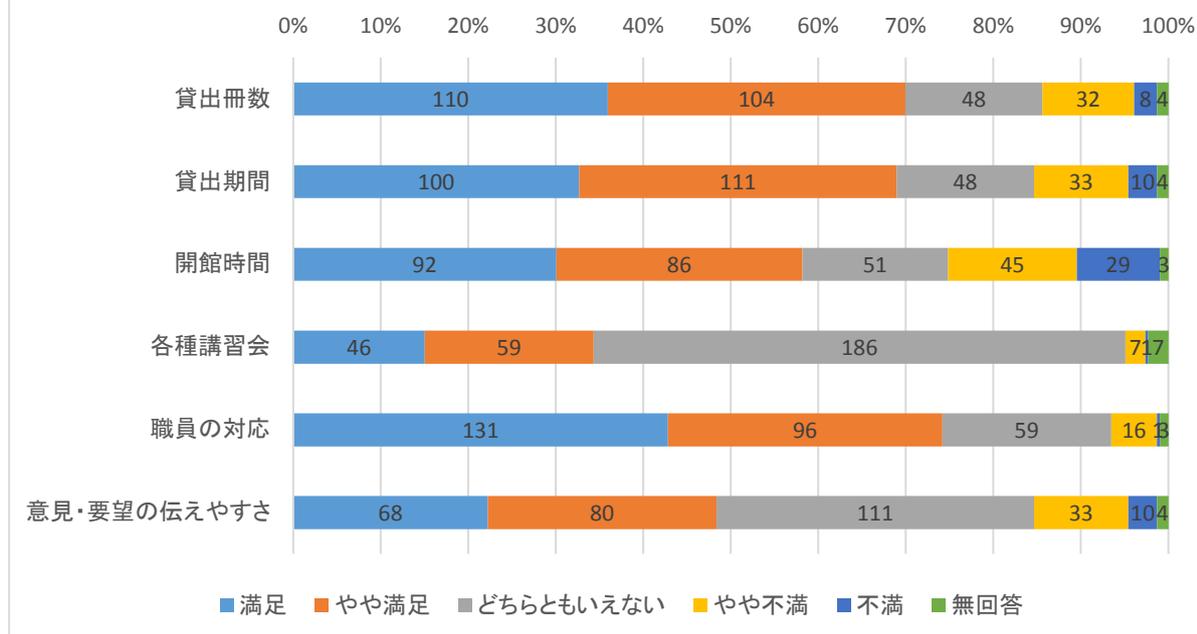
【設問 11】 次のサービスや施設・設備について、それぞれ最も当てはまる満足度を1つ選んでください。



施設・設備の満足度

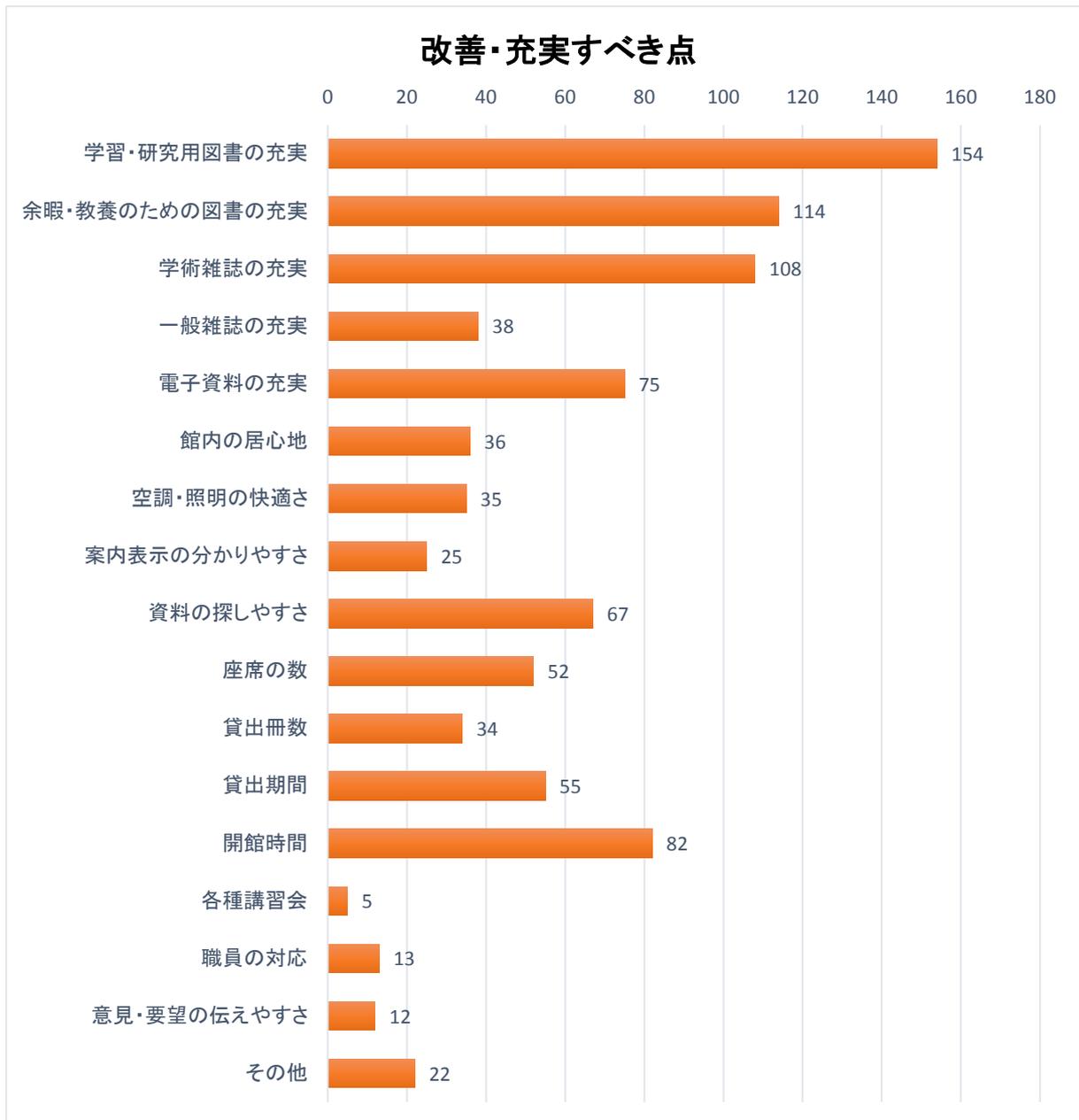


サービスの満足度



(今後への期待)

【設問 12】 図書館のサービスや施設・設備について、特に改善・充実すべき点があれば教えてください。(複数回答可)



■ その他

- ・アクティブ・ラーニング・エリアやグループ・ラーニング・ルームの活用・周知
- ・デスクネットでの予約を可能にしてほしい。
- ・ごみ箱を増やしてほしい。
- ・飲食可能にしてほしい。(2件)
- ・学習用視聴覚資料の充実
- ・勉強しながら飲み物を飲める場所を増やしてほしい。また、テスト前。テスト期間中は一般利用者の閲覧室での自習等をひかえるようにしてもらいたい。高校生のせいで勉強できない大学生がたくさんいるので。
- ・学生証バーコードが面倒くさい

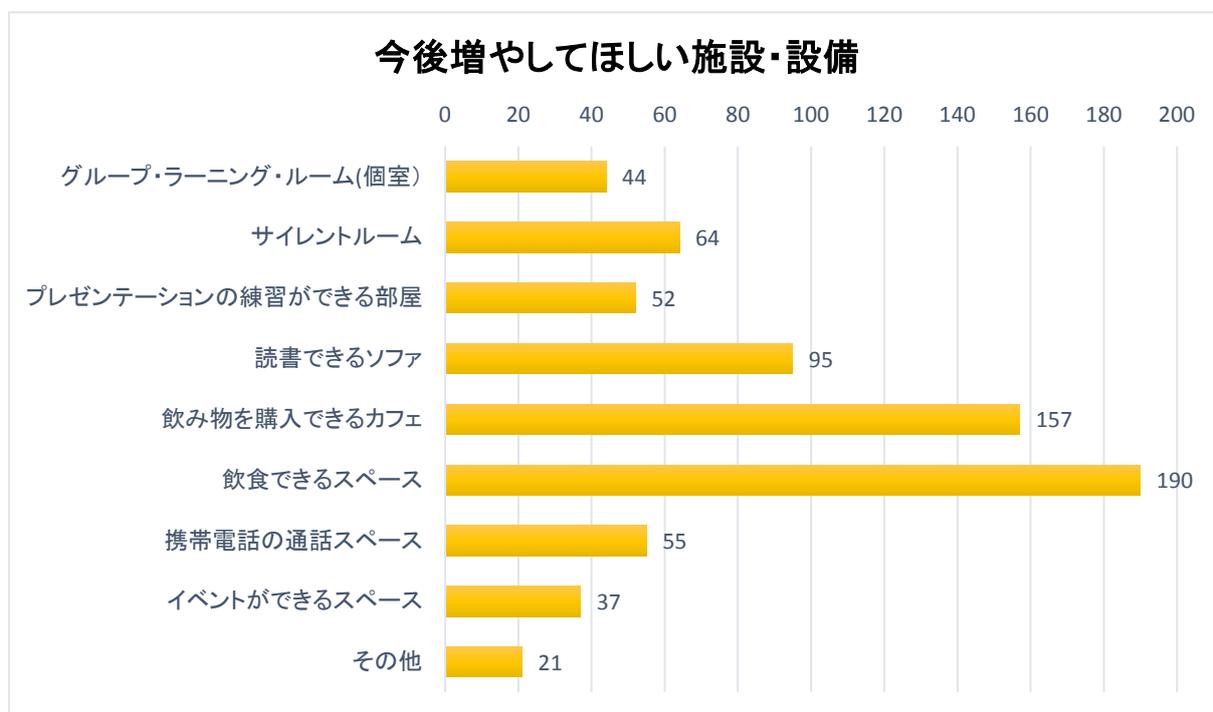
- ・ノートパソコンを使用する際の電源プラグが使える机を増やしてほしい。(2件)
- ・青森地区分館の設置
- ・電子ジャーナルの充実
- ・返却時に入館手続きなしで返却できるようにしてほしい。
- ・返却方法
- ・土日の開館時間をのばしてほしい
- ・利用のしやすさ
- ・利用許可について
- ・冬は2階の自習スペースをもう少し暖かくしてもらえたら嬉しいです。
- ・ほとんどの職員さん、熱心・丁寧に対応いただきありがとうございます。一度、見た目で見ただけで教員 or 学生を判断し、対応の仕方に差をつける方がいて残念でした。分け隔てない対応をお願いします。
- ・医学部分館も本館並みに整備してほしい。
- ・医学分館2Fでは電動書架がやや使いにくいと感じた。

■上記に関して、具体的な希望があればご記入ください。(自由回答)

→設問14をご覧ください。

(設問12の具体的な希望と、設問14のご意見・ご要望で、重なるものが多かったため、設問14と一緒に集計しています。)

【設問13】今後増やしてほしい、または新設してほしい施設・設備があればお選びください。(複数回答可)



■その他

- ・24時間対応の学習スペース
- ・2階閲覧室の踏み台
- ・30分位仮眠できるベット
- ・アクティブラーニングスペースの拡充

- ・インタラクティブホワイトボードを備えたグループ学習室を複数設置
- ・ピコカードの入金の機械（印刷用）
- ・ビデオやDVDの視聴覚資料の映写ができるグループ・ラーニング・ルーム
- ・メディア視聴できるスペースおよびソフトの拡充・充実
- ・会話可能スペース
- ・席を増やして欲しい
- ・飲み物位（ペットボトル、水筒）はその席でも飲めるように
- ・飲食できるスペースに加えて自動販売機（コピーのための小銭を忘れた時に両替できる）
- ・暑い日は水分補給の頻度が多くなるため、喉が渇く度にオープンラウンジへ移動するのは面倒だと感じました。
- ・書庫にあと少しだけPCが欲しいです。「飲食できるスペース」について飲み物だけでもいいです。
- ・書斎のような部屋
- ・小さな移動式のテーブルかワゴンを書庫や書架で本を探すときに使えると助かります。あるいは、小さなカゴでも。
- ・図書や雑誌の絶対数の増加、古い図書の保存
- ・壁に歴史年表（維持費のあまりかからないもの）

【設問 14】最後に、図書館へのご意見・ご要望があればご記入ください。（自由回答）

→設問 12 の具体的な希望と設問 14 を一緒に集計し、ここには主なご意見を抜粋して掲載しています。非常にたくさんのご意見・ご要望をいただきましたので、図書館職員が全てのご意見に目を通すとともに、改善を検討しております。できることから一つずつ対応していきますので、今後も図書館へのご理解・ご協力のほどお願いいたします。

●開館時間

- ・開館時間を朝 8 時 30 分からにしてほしい。空調が効いていて、本がたくさんあって新聞もいろいろある図書館に、朝から入れれば、私は他に望むことはない。ただ、開館時間は、文献検索の方法など、授業で使う時もあるのに、9 時開館では、1 コマ目には使えないわけで、到底、大学の設備とは思えない現状だと思う。職員が朝早く出勤できないなら、バイトを入れたらよいのではないのでしょうか。
- ・24 時間営業にして欲しいです。ただし、22 時～9 時の間は貸出禁止、PC も使えないようにし、中で本を読む、勉強するのみにすればいいと思います。
- ・土日祝日、長期休暇も 9:00-22:00 で開館して欲しい。大学生は土日でも休暇中でも勉強しています。閉館されては図書館の機能が果たされておりません。

→開館時間についてのご要望が多かったため、平日の開館時間を早めることについて、前向きに検討しています。

土日祝日、及び休業期の開館時間を延長することについては、人件費及び光熱水費がかかることから、予算確保の問題があるため、今後引き続き検討していきます。

なお、24 時間開館（夜間の無人開館）については、セキュリティ上の観点から考えておりません。

- ・休館日に丸がついたカレンダーを玄関前に掲示したり、Twitterに載せたりするなどわかりやすくしてほしい。

→玄関前の掲示及び Twitter に開館カレンダーを掲載しました。どうぞご利用ください。

●飲食

- ・フタの出来る容器で、飲まない時は鞆にしまう等の条件で場所を限定せずに飲み物を飲めるようになると嬉しい。食べ物に関してはそのままです。
- ・館内に飲食スペースがほしいです。日曜日に勉強に行っても食堂もやっていないし、ご飯を食べれる場所がないので館内に軽くイートインスペースがあると、とても嬉しい。

→飲食についてのご要望も非常に多かったため、現在はオープンラウンジ・オープンテラスに限定して飲用を許可していますが、飲用スペースの拡張を前向きに検討しています。食べ物については、今後の検討課題といたします。

●施設・設備

- ・夏のエアコンが効きすぎています。改善してくれると助かります。
- ・冬季の空調が寒過ぎる。コートを着て勉強している学生が殆ど。もっと暖かくして。
- ・夏場などに窓を開けると、夜は小さい虫がたくさん入ってきて困るので、窓を開けて気温管理するのはやめて欲しい。机のライトに虫がたかってきます…。

→快適な部屋の温度になるよう心掛けておりますが、もし暑い・寒い等の不快感がありましたら、カウンター職員までお知らせください。エアコンの温度を調整いたします。
なお、節電のため、夏場で窓を開けて涼しい風が入ってくる時期は、窓を開けて室温を調整しています。虫除け対策について検討いたします。

- ・打合せや会議場所を必要としている学生は相当数おり、現在仕方なく学食を利用している学生も多いため、GLなどの周知広報は効果を示すはず。図書館は基礎ゼミで説明を受けたのみで1度も入らない学生も多いため、全学年への継続的な広報が必要（SNS?HP?）。
- ・GLルームなどの予約状況や予約をデスクネットで行えるようにしてほしい。

→グループ・ラーニング・ルームを予約して利用できることを学内一斉メール等で改めて周知いたします。学生証や図書館利用証をお持ちの学内の方でしたら、図書館HPのMyLibraryからグループ・ラーニング・ルームのWeb予約ができますので、ぜひご利用ください。なお、デスクネットは学生が利用できないため、図書館システムのMyLibraryを使用しておりますので、ご了承ください。

- ・机がある所にごみ箱を設置して欲しい。2階を使用した時消しゴムのかすを処分するのに困ったので。

→2階にごみ箱を増やしました。消しカス入れも用意していますので、お使いください。

- ・普通の学習スペースにもコンセント欲しいです。
- ・現在、学生はパソコンによる分析や執筆が欠かせない状況です。なのに電源席が非常に少ないことや、充電禁止の張り紙を多く見かけます。私は節電の重要性を良く理解し、職場でも積極的に貢献している自負があります。しかし、本学の図書館はいささか本質を見誤っていると言えます。スマートフォンで論文を書く学生も多い中、限られた充電環境しか学生に与えないのは理解できません。図書館だけでなく、全学的な議論が必要だと思いますが、職員の皆さんの見解を知りたいです。

→今後コンセントがついた机を増やすよう前向きに検討いたします。コンセントを使用される場合は、1階こぎん刺しの机か、2・3階アクティブ・ラーニング・エリア等をご利用ください。また、充電禁止については、今後は禁止せず、学修・研究用に必要ならコンセントを使用して良いことといたします。

- ・期末試験の時期になると、PCの数が需要に対して足りなくなるように感じるので、もう少しだけ台数を増やしてくれると嬉しいです。

→館内利用のノートパソコンも用意していますので、3階PCサテライトが満席の場合は、貸出用ノートパソコンを借りるか、または情報基盤センターをご利用ください。

- ・iPadを置いておけば電子書籍を試してみる人が増えると思います。

→館内利用のiPadを用意しておりますので、カウンターで借りてご利用ください。(防犯上の理由から、iPadを閲覧室等に自由に使える形で置いておくことは考えておりません。)図書館では電子資料も揃えておりますので、多読本の電子ブックも閲覧できますし、2月から開始した電子図書館「LibrariE (ライブラリエ)」サービスでは、就職対策本を閲覧できます。電子ブックも是非ご利用ください。

- ・2階のアクティブラーニングスペースが変な匂いでこもっている気がする。
- ・パソコン室の、キーボードがぬるぬるしすぎている。1日の終わりにふいてほしい。

→毎朝掃除しており、空気の入替えや拭き掃除も行っていますが、隅々まで掃除が行き届いていないところもあり、申し訳ございません。PCサテライトのキーボードの汚れが気になる方のために、PC用ウェットティッシュを置くようにいたしますので、ご利用ください。

- ・入口が人文社会科学部側だけなのが不満である。教育学部側にも設置できないものだろうか。

→教育学部側への入口の設置については、図書持ち出し防止装置の設置や、職員配置の問題もありますので、今後検討していきます。

●新聞

- ・新聞を特定のすじに返さなければならなくなって面倒臭くなった。だいたいの辺りにあれば一瞬で見つけられるので、きちんとそこになければならないことはないと思います。(以前

の方が使いやすかった)

→各新聞の場所を個別に指定するのではなく、「青森県内」、「全国」、「北海道・東北」等、大まかに分けるように対応いたしました。

●図書

- ・蔵書数が少ない、大学と図書館のレベルは一致すると聞いたことがあるので、弘大の活性化のためにも図書館の活性化には力を入れた方が良いと思う。
- ・図書館は大学の教育・研究環境を示す最重要施設ともいえるものなので、和洋の専門書籍や雑誌の蔵書数、データベースの充実は不可欠。

→ 5年前より新たに予算措置を受け、以前より資料費は多く配分されていますので、今後も蔵書や電子資料を充実させていきます。

- ・一般の文庫本が読みたいです。
- ・小説の数を増やしてほしい。
- ・芥川賞・直木賞特集コーナーを作ってほしい。

→芥川賞・直木賞・本屋大賞等にノミネートされた作品の購入を検討しています。他の文学作品についても選定方法を検討しています。

- ・海洋学の関連図書が欲しいです。
- ・法律が改正された場合や判例が変更された場合等（社会の耳目を引いた事件が発生したときに対する専門家の意見が発出された場合等）のときに、速やかな解説書、評論、意見書が記載された本を取得してくれたらありがたい。（法学関係やマスコミで取り上げられているアップトゥデートな問題の見解を述べているもの）
- ・ビジネス実用書を拡充してほしいです。サンライズ産業さんの寄贈は大変ありがたいですが、最新かつ話題の本を早めに蔵書してくれるとありがたいです。

→学生・大学院生の方は、図書館利用者希望図書の制度を利用し、図書館で購入して欲しい本の希望を出すことができますので（年間5冊まで）、是非ご利用ください。

- ・公費や科研費で教員が購入した図書の登録は、簡単にならないものでしょうか。登録に時間がかかりすぎるのと手続きが煩雑なのとで私費購入することが多いのですが、これでは図書館の蔵書、とくに専門書が豊かにならないように思います。

→図書納品後、速やかに登録処理するように改善いたします。

- ・内容は事典ではないのに、書名に「事典」が含まれるだけで事典類になっていたり、内容から考えるとあまり関連のない番号に分類されていたり、複数所蔵されている同じ本が異なる番号を持っていたりするのを見かけます。目当ての資料はOPACで釣れますが、周辺の関連図書を漁って思わぬ出会いがあるのが開架図書館の利点だと思いますので、どうか

分類は内容に即して、できるだけ体系的にお願いいたします。

→本の内容を確認し、参考図書にするかどうか、分類（請求記号）は妥当か等、判断しておりますが、1冊1冊を詳しく読み込む時間的余裕がないため、実際に本を読んだ方が「分類が違う」と思われることがあるかもしれません。申し訳ございません。今まで以上に慎重に判断するようにいたします。

・ 図書を、書店で見た背表紙の色で探すことも多いので、ブックカバーを剥かないでほしい（地味だし焼けやすいし見つけづらい）です。

→カバーしたまま配架してほしいという要望にお応えして、4月からカバーを外さないで配架するように変更いたします。

●視聴覚資料

・サイエンスやテクノロジー関係の視聴覚資料が20年くらい補充されていません。授業に活用するため、充実をお願いします。定期的な見直しプロセスが必要なのではないかと思えます。また、NHKの「プロフェッショナル」や各種の「特集」などのDVDがあれば専門性に関わらず、学生が人生や進路について考えるためのヒントになると思えます。

→視聴覚資料についても予算配分し、購入するようにいたします。

●雑誌、電子ジャーナル、データベース

・CiNiiで検索した時、論文や雑誌が弘大にあるのかわからないのか一目で分かるようになって欲しい。（雑誌自体はあっても巻がない場合が特に分かりにくい）棚に番号をふってあるのであればWebからも棚番が確認できると探しやすいと感じる。

→CiNii BooksやCiNii Articlesには、弘前大学の電子ジャーナルリストにリンクできるFullTextNavigationというボタンが表示されるようになっており、そこから電子ジャーナルや図書館のOPACにリンクして調べることができます。書棚にある資料は新刊の受け入れで毎日のように動きますので、棚番まで入れることは難しいですが、FullTextNavigationのリンクを使うと検索が楽になりますので、お試しください。

・データベースや電子ジャーナルの充実をお願いしたい（特に、MathSciNet）
・1アクセスでいいので日経テレコン利用できるようにしてください。就活でも学生使うと思えます。

→毎年の電子ジャーナルアンケートの回答などを参考にしながら、整備に努めていきます。なお、MathSciNetについては2020年分から経費の一部を図書館で負担させていただくことになりました。受益者負担という形ではありますが、図書館予算も限られている中で様々な経費負担の形も検討してければ、と思っております。

・English Journal(雑誌)を置いて欲しい。CD付きで比較的高価なので毎号の購読は難しい

と感じる。

- ・ Neurology, JAMA neurology, Annals of Neurology, JNNP など従来あった神経学の必須の雑誌がなくなったので（県内の一般病院でも購入しているレベルの雑誌です）、とても困っています。再度購入を考慮してほしい。
- ・ Scientific American、Reader's Digest の本物（電子媒体でなく）を読みたい。
- ・ 音楽の友を定期購読してほしい

→Annals of Neurology は Wiley Online Library で利用可能です。また Scientific American、音楽の友は附属図書館本館で購読・配置しています。

もともと学部の各講座で買っていたものが購読中止となった分について図書館でカバーできればいいのですが、分野に特化したものの整備については経費の都合上なかなか厳しく対応できておりません。部局と図書館での折半といった受益者負担の形式なども視野に入れながら検討していきたいと思えます。

●貸出冊数・貸出期間

- ・ 貸出冊数 10 冊・貸出期間 20 日間。
- ・ 大学院生でかなりの文献を読む（しかも内容は難しい）ので、15 冊位まで借りられると嬉しいです。

→貸出冊数・貸出期間については、貸出延長の統計や、他大学の状況も見ながら、検討いたします。

●広報

- ・ Twitter は一時見ていたが、私事が多く、かつそれが愚痴に見えるときもあったため今は見えていない。現在のツイートがどのようなになっているかはわからないが、準公的アカウントとしての投稿であることは念頭に置いてもいいのではないかと、思う。

→『弘前大学「公式アカウント」運用方針』に準拠した運用を行うこととし、当館における Twitter 運用ガイドラインの策定を進めます。

- ・ 能動的な学びにおける読書のすばらしさと必要性を伝えるために、『今時の学生』に明確にターゲットを絞ってクリティカルな広報することが、大学における図書館の役割の 1 つであると考えます。

→図書館報『豊泉』をはじめ、Twitter やブログ等の様々な媒体で広報活動を行っていますが、ターゲットの設定や媒体に応じた広報内容の住み分けが不十分であると実感しております。利用して下さるすべての方に満足いただけるような広報を目指しておりますが、今後は、「今時の学生」ということにも焦点を絞った工夫をしていきたいと思えます。

●その他

- ・ 今回もそうだが、これまでのアンケート結果をどのように反映してきたかの回答もほしい。

特に、過去のデータベースや電子ジャーナルの購入希望調査結果への対応を伺いたい。

→電子ジャーナルアンケートは当該年度の集計結果と回答を図書館 HP に掲載していますが、これまでの集計結果アーカイブと整備・改善状況をまとめた一覧を HP に追加して公開します。毎年の回答にも記載していますが、限られた予算の中で取捨選択せざるを得ず、すべてのご意見にお答えするのは難しいですが、僅かながらも対応している部分がございますので、ご参考にしていただければと思います。

・司書コーナー受付としての、カンファレンス専門部のような配置職員かレファレンス部門を設けて、より図書利用の充実するプログラム提示を独自に構築させてもらいたい。できれば新しい図書館のスタイルとしての、各種講習会の開催主旨に向ける、弘前大学オリジナル学習文献のリストアップの作成とかを期待します。

→参考調査カウンターがレファレンスを担当しており、文献検索ガイダンスを春季・秋季に行っていますが、その内容をより充実させていきたいと思います。また、利用ガイドや調べ方案内等の資料を作成し、充実させていきます。

・職員の方々が優しく親切で困っている時に声をかけて下さって嬉しかったです。
・文献複写できない場合でも、いつも代替案を提示して下さるので、大変感謝しております。
・職員の対応に関しては、人によるとはいえ、全体としてみれば、学内の窓口対応のなかで十分ワースト3に入ると思います。もう少し勉強していただきたく強く希望します。

→ご不快な思いをさせてしまった方がいるようで、大変申し訳ございません。カウンターでの対応については十分気を付けます。

・農学生命科学部は博士課程がないため、岩手大学を中心とした連合大学院に組み込まれているが、以前は学生証が弘前大学のものではなかったため入館すらできなかった。現在は入館できるようになりましたか？少数ではあると思いますが、そのような博士課程の学生にも入館できるようにしてほしい。

→岩手大学連合大学院については、学生証とは別に、カウンターで図書館利用証を発行しており、本学の大学院生と同じ条件で利用可能となっております。

・3階のPCサテライトについて、他の利用者がとてもうるさい時がある。しかも、複数の利用者の場合かなりうるさい。張り紙等で注意して欲しい。
・PC室、閲覧室の私語禁止にしてほしいです。

→会話したい方はラーニングコモンズへ、静かに勉強したい方は閲覧室のご利用をお願いします。PCサテライトには、他の利用者の迷惑にならないよう注意を促す掲示をします。

・静かすぎると逆に居心地が悪いので、BGM（ジャズ）をかけて欲しい。

→静かに勉強したいという方がいる一方で、静かすぎるので音楽をかけてほしいという方もいますので、多種多様な学修環境を提供するよう検討していきます。

・思いつきで入れないのでだるい。

・学生証バーコードめんどくさい。

→入館ゲート設置により、防犯対策と、また入館者数の統計を取ることが可能となっております。ご面倒でも学生証を読み込ませての入館をお願いします。なお、学生証を忘れた場合はカウンター職員に声をかけていただければ、ゲートを開けます。

・市立図書館と連携して、貸出率の低い過去の名作などを定期的に借り受け、大学生が名作に触れる機会を作ってはどうか。

→開架だけでなく、書庫にもたくさん文学等の図書を置いてありますので、企画展示で利用者の目に触れる機会を作りたいと思います。今後はさらに文学作品等の所蔵を充実させるよう、購入を増やしたり、他館からの借用も検討していきます。

●医学部分館

・医学部分館について、自習室で飲食している学生を野放しにしているので職員が注意してほしい。また、学外者（高校生と思われる）で図書の利用なく自習のためだけにきている人が目立つので制限してほしい。

→飲食については、時々見回りするようにいたします。本学では以前より、地域貢献として学外の方でも図書館を利用できるとしており、特段の問題がないのであれば、学外者の利用を制限することはできかねます。

・やはり、医学分館の貸出可能日数を文京と同じにしてほしい。ペナルティは、遅延期間の二倍にしてほしいと思う。

→医学部では必修授業が多いことにより特定の図書に利用が集中する傾向があることから、より多くの方に利用してもらえるよう、貸出日数7日間の設定にしております。予約が入っていない場合は、1回に限り貸出延長をすることができますので、どうぞご利用ください。

・医学の方の図書館の時間も長くしてほしいです。グループラーニングができるスペースもほしいです。勉強場所に困っています。

→医学部分館の開館時間は、授業期は平日9時から22時まで、休業期は平日9時から17時まで、土日は10時から17時までと、本館と同じ時間帯の開館となっております。本館が17時で閉館する9月や2月も、医学部分館は22時まで開館しており、本館と比べて短いということはありません。

- ・本町キャンパスの図書館がパソコンルームと分離されており、不便に思います。また、ラーニングルームにあたる部屋も増設してほしいと思います。

→医学部分館の建物の構造上、現在あるスペースを拡張することは困難です。ラーニングルームについては検討しますが、設置した場合、現在よりも閲覧席が減ることになります。

- ・教科書に指定されているものについては、全てについて最新版を数冊ご用意頂きたいです。(医学科)
- ・各癌取り扱い規約、診療ガイドラインの最新版を蔵書してほしいです。CBT や国家試験の QB の蔵書のタイミングがもっと早いと嬉しいです。
- ・本館に出向かなくても医学分野に限らずより多種類の図書を閲覧できるよう、分館の充実をお願いします。

→予算とスペースが限られているため、全てのシラバス掲載図書について複数冊揃えることは困難ですが、利用頻度の高い図書はなるべく複数冊揃えるようにしています。

また、取り扱い規約、ガイドラインは、年度末に残った図書予算で利用されそうなものを購入しています。図書の選定は、自治委員会に依頼するなど、まとめて行う形のため、利用可能になるのは秋頃です。

小説等も読めるよう、文庫本コーナーを設置することにしました。

- ・医学部の図書館の個人機がいまだにコンセントがないのは本当にやめて欲しいです。パソコンで勉強するのが当たり前なので、、、。よろしくお願いします。

→延長コードを用意し、コンセントが利用できる個人機を増やします。

- ・医学部分館も本館並みに整備してほしい。
- ・医学部分館 2 F では電動書架がやや使いにくいと感じた。
- ・保健学科用書庫のドアの開閉音がかなり大きく、図書館利用者の集中の妨げになっているように思います。開閉時の注意喚起を更に徹底するか、ドアの取り付けを変えるなど、早急にご対応頂く必要があるように思いました。

→医学部分館は少し前に耐震改修工事を行っておりますので、当分の間は大規模な整備を行うことは難しいと思われます。

電動集密書架は本来、比較的利用の少ない資料を収納すべきものです。しかし、医学部分館ではスペースが不足しているため、やむなく利用頻度の高い学習用図書も収容しています。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

書庫のドアについては、修理いたします。

- ・厳しい予算の中、努力していただいているのが伝わります。いつもありがとうございます。
- ・今年は逃しましたが、POP コンテスト毎年楽しみにしています。
- ・入学時からお世話になっています。レポートや講義、個人的な資料探しによく利用しており、

絶版の書籍を見つけた時にはとても感動しました。出会いの場である図書館を維持していただき本当にありがとうございます。

→いつもご利用いただき、ありがとうございます。

今後もサービス向上に努めていきますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。